



由来【農業の宝石箱】

多様な農業が展開されているこの地域の特色をイメージし、四季折々の美しい景色が楽しめる函館の名所・五稟郭をモチーフにした髪型で、活気ある雰囲気を演出しています。また、お花見スポットとしても有名なことから、桜の髪飾りをつけています。さらに農業を連想させると、軍手・長靴を身に着けているのもポイントです♪



Jークレジット制度



Jークレジット制度とは、省エネ設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO₂等の排出削減量や、適切な森林管理によるCO₂の吸収量を「クレジット」として国が認証する制度です。



Jクレジット制度

JA新はこだてでは、稻作の中干し期間を延長する取り組みを推進しています。水を抜く時期を計画的に見直すことで、田んぼの土壤環境を整え、メタンなど温室効果ガスの排出を抑制する効果が期待されています。この削減量はJ-クレジットとして認証・取引され、企業の排出削減目標の達成にも活用されます。農家にとっては、新たな収入源の創出につながる点も大きなメリットです。

当JA管内では渡島・檜山管内で60件の農家が611ha (東京ドーム130個分) の水田で中干期間の延長を行っており、地域の取り組みは環境配慮と生産の安定を両立させるモデルとして注目されています。

現場では、計画づくりから実施、モニタリング、審査・認証までの流れを一体で進めます。まず計画を立て、関係者と合意した水管理のルールを共有します。次に実施段階で水位の管理を継続的に記録し、必要に応じて差し水を組み合わせて品質を守ります。そのデータを基に第三者機関の審査を受け、認証を経てJ-クレジットが発行されます。認証後は企業の排出削減に活用され、地域の農家には追加の収入がもたらされます。

この取り組みは、環境に優しい米づくりを選ぶ消費者の意思を後押しするだけでなく、地域経済を循環させる力にもなります。

これからも普及と改善を続け、地域の米づくりと地球の未来をつなぐ力を拓げていきます。皆さんのご理解とご協力が、持続可能な食と暮らしを支える大きな原動力になります。

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

認証されたクレジットは、購入することができ、温対法報告における排出係数の調整やカーボン・オフセット等、さまざまな用途に活用できます。また、クレジット購入代金は、クレジット創出者に還元され、さらなるCO₂等の排出削減・吸収の取組や、地域活性化等に活かすことができます。

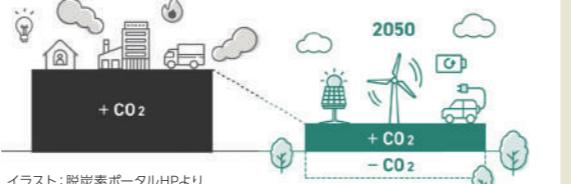


イラスト: 脱炭素ポータルHPより

みなさまのご意見をお聞かせください!

総務部
総務企画課

道南地域の農業をこれからも守り、より豊かにしていくためには、農業に携わる方々だけではなく、消費者の皆様や地域でご利用いただいている皆様のご理解とご協力がとても大切だと考えております。今後、より良いJA運営や地域農業を目指していくためにも、右下のQRコードからアンケートにご協力いただき、ぜひ皆様のご意見やご感想をお聞かせください。皆様からいただいたお声を、JA新はこだての事業活動にしっかりと活かしてまいりますので、ご協力のほどよろしくお願いします。

アンケート

所要時間: 約3~5分
回答形式: Googleフォームによるweb回答



JA新はこだてのコミュニティ誌
しんはこ・ノウ

JA新はこだての概要

「JA新はこだて」は、北海道の南西部、渡島・檜山地域の2市15町を区域にするJAです。平成14年に13のJAが広域合併して誕生しました。さらに、令和5年にはJAきたひやまと合併し、新生JA新はこだてとしてスタートしています。皆さまが暮らすこの道南地域にしっかりと寄り添い、支持される「頼りになるJA」を目指します。

JA新はこだてコミュニティ誌
しんはこ 農 K-now Vol.16
2026年1月21日発行

発行 新函館農業協同組合
北海道北斗市本町1丁目1番21号
Tel 0138-77-5555
Fax 0138-77-5566
<http://www.ja-shinhakodate.jp/>

JA新はこだて
※農 K-now: タイトルの「農 (K-now)」とは、英語の「know (知る)」と「now (今)」からきており、皆さんにJA新はこだてをもっと「知つてもらいたい」という思いと、JA新はこだての「今」をお知らせするという二つの意味が込められています。

「JA新はこだて」って、こんなところ。

あなたの暮らしに寄り添う
「しんはこ」



協同組合とは?



協同組合は、同じ目的を持った人たちが集まり、お互いに助け合うことを大切にしている組織です。

株式会社のように利益を追い求めるのではなく、組合員の暮らしや地域の発展を支えています。

この「助け合い」の気持ちは、昔から世界中で大切にされてきました。

日本でもさまざまな協同組合があり、組合員の生活や仕事を守りながら、地域社会にも貢献しています。

JAとは?



JA (ジェイエー) という名前は、Japan Agricultural Cooperatives

(農業協同組合) の頭文字を取ったもので、農業協同組合の愛称です。

JAは、農家さんを中心とした「組合員」同士が助け合いながら、自分たちの暮らしや農業を守るだけでなく、地域全体がもっと良くなるように力を合わせて活動している協同組合です。

道南農業を元気にします

品質の良い農産物を
より多くの皆さんへ

皆様に安全・安心で新鮮な道南産の農産物をお届けしたいという思いから、私たちは農家の方々にさまざまなご提案をしています。栽培技術のアドバイスや新品種の導入、販売方法の工夫、そして一人ひとりに合わせた農業資材のご提案など、品質の良い農産物をより多く生産できるようサポートしています。これからも、より多くの消費者の皆様においしい農産物をお届けできるよう努めます。



生産販売部
農産園芸課



未来に農業をつなげます

次の世代へ農業をしっかりと受け継いでいくために、JAではさまざまな取り組みを行っています。農業を支える人や後継者を確保したり、農地をまとめて効率よく活用できるよう工夫したりしながら、食料を安定して生産できる体制づくりを進めています。また、化学肥料や農薬を適切に使うことを心がけたり、スマート農業を取り入れたりして、環境への負担を減らし、これからもずっと農業が続けられるように努力しています。



七飯営農センター
生産施設課

皆さんのくらしを支える金融機関

J A バンクは地域に根ざし、皆さまの大切な貯金をお預かりしています。また、住宅ローンなど、暮らしに必要な資金についての相談も承っています。さらに、JA共済では「ひと・いえ・くるま」の総合保障を通じて、万一のときにも安心していただけるよう、皆さまの暮らしを生涯にわたってサポートしています。これからも、地域の皆さまの身近なパートナーとして、安心と信頼をお届けします。



信用共済部
上磯支店

J A バンク
公式キャラクター
よりぞう



農家と消費者をつなぐ直売所「あぐりへい屋」

作り手である農家と、食べ手である消費者をつなぐ大切な場所である「あぐりへい屋」ではお客様に野菜について分かりやすくご説明したり、オリジナル商品の開発を通して野菜のおいしい食べ方をご提案する活動を行っています。オリジナル商品としては、ラーメンやカレーのほか、フードコーナーでは地元産の農畜産物を使ったソフトクリームやシェイクなど、「あぐりへい屋」でしか味わえない味をご提供しています。

住所 北斗市東前62番地 TEL 0138-77-7779



密着したJAを目指します

道南で生活する皆さんに 農業と地域をつなぎます

SHUN-HAKODATE

「(株)新はこだて協同」が
暮らせしをむかしサポートします

農業と地域をつなぎます

イベントで地域農業を 活発化します

毎年、多くの人にぎわう農業祭やイベント、農業体験などを通じて、農家と地域の皆さまが交流できる機会を大切にしています。イベントの直売コーナーでは、農家の方と会話を楽しみながらお買い物ができるのも魅力のひとつです。中には豪華な景品が当たるイベントもありますので、ぜひお気軽にご参加ください。農家と地域の皆さまがつながり、地域の農業がもっと元気になることを目指しています。



知内営農センター
営農課

子どもたちに農業を広めます

子供たちに地域の農業や食の大切さを理解してもらうため、農家や学校と連携して食育授業や収穫体験などを実施しています。田や畑に触れる機会の少ない子どもたちが農家の畑で授業を受けたり、食について考える授業を行うなど、様々な学びを提供しています。また、道南産の農産物を積極的に学校給食へ納品することで、多くのこどもたちに新鮮な農産物が届き、地域農業を知りながら農業の魅力を学ぶ機会になっています。



生産販売部
米穀畑作課

燃料部門(ホクレンSS)

安全なカーライフを送っていただけるよう、ガソリンなどの燃料供給や自動車のメンテナンス、家庭用灯油、家庭用LPガスの供給など、地域に根ざしたサービスステーションとして安心・快適な暮らしを支える事業を開いています。



生活店舗部門(Aコープ)

食品や日用雑貨など、皆様の生活に必要な生活資材を提供し、地域の暮らしに欠かせないライフラインとしての役割を担っています。また、地産地消を推進し、地域の食を守るとともに、地域に愛される店舗づくりを進めています。



整備部門(自動車・農機サービス)

農業機械や自動車の車検・販売・修理・整備を行っており、特に農業機械の整備では、組合員の皆様が農作業を安全に行えるよう、作業前の点検やメンテナンス・修理など、トータルサポートに努めています。



ホームページリニューアルしました!

令和7年12月にホームページをリニューアルしました。右記のQRコードからご覧いただけますので、ぜひお気軽にアクセスしてください。上記の施設等の連絡先も載っています。

